

猪の瀬戸の風だより

2007. 12. 9

12月号 No. 5

猪の瀬戸湿原保全の会

猪の瀬戸プロジェクト11月の活動

11月11日に調査活動を行ないました。

GPS班は川の流れのライン、氾濫原の範囲、森林限界を測量しました。

観察ポイント班は定点観察を行なう地点を選び出して、目印の杭を立てました。生野先生はツルヨシの生命力に感動されていました。

(写真はポイント選定中)



スリットダムの提案

猪の瀬戸の水環境についての提言です。

すでに学んだように城島川の氾濫原の原因は一時的な多量の水流出にある。その原因の一つはエコライン沿いに設置されている側溝である。エコライン沿いの側溝は一つにまとめられ、城島川上流に落としこまれている。それにより落ち込み付近は大きな崖崩れを生じている。またエコラインの暗渠の下流も河岸が大きくえぐられ土石流の原因を作っている。さらにエコライン東側も林道付近には多量の土石が堆積され、やがて湿原内に流れ込む様相を呈している。これは上流のガレ谷に起因すると思われる。

結局のところ問題になるのは城島川上流部であるということになる。上流の浸食が進み河床が下がったことにより湿原のうち県道上側の乾燥化が進み、下側の湿原への緩やかな水の供給も低下したと思われる。対策としては根本的には側溝の構造を変え、水流を何箇所かで放散しなければならない。これは市道を管轄する市への要望事項となるだろう。現状を改善する緊急策としては城島川上流部の川床を上げることが必要になる。方法としてはまずダムを作ることが考えられる。しかし普通のダムでは土石と共に小粒の栄養に富んだ腐葉土などの流下も妨げられ、湿原への悪影響が懸念される。そこで大きな石は取り除き、小さな土砂や水は透過する構造が必要になる。これに適した方法としては、蛇籠を並べて棚田状に遊水池を築く案が出されたが、問題も多い。

代案として、スリットダムを築く方法がある。基礎部分はコンクリートで固めなければならないが、その上に例えば鋼鉄製のパイプをA字型に成型したものを横向きに横にいくつも並べる。つまりスリット（間隙）を作る。そうすると多量出水があった場合にはまず倒木や巨礫が絡められ、次第に小さな石も引っかかり、やがて透過性のある堰を築くことができる。スリット材の形状や構造は様々なものが考え出されているが、問題は多量出水が繰り返された場合、強度がもつかどうかである。構造が破壊されれば却って異常な土石流の新たな原因ともなりかねない。これを防ぐには何段にもわたってこれを築くことと、

下流部分にある程度の余裕を見込むこと、さらには定期的に点検をすることであろう。造りっぱなしではだめだということになる。そのうち側溝の問題も解決され、最上流には林道あたりにコンクリートダムでも設置されれば余計な心配もなくなるであろう。

ただこれらは今のところ会の活動として実現できることではない。地権者・市・県・国の当局の合意と了解及び施工が必要である。ただ提案事項としてはもっと積極的に提言していく方がよいと思う。素人の提言ではあるが、専門家が改善案や対案を築く契機になればよいと思うのである。(文責：児玉)

世話人会報告	12月1日(土) NPOプラザ	出席(渡嘉敷・児玉・森田・工藤・横田)
---------------	---------------------------	---------------------

○12月の活動について

来年4月からの会のあり方や活動内容を固めるため、以下の内容としたい

- ・ 自然公園法などの法規制と、土地所有権(財産権)についての再確認
- ・ 猪の瀬戸の自然を形作っている根本は何か?(水、土、植物、気温、人間、…)
- ・ 会の最終的な目標や目的は?そのために必要な活動は?
- ・ 会のあり方、方向性は?どのような性質の会を目指すのか?(統制、親睦、同一、多様、急進、熟慮、単独、連携、閉鎖、公開、観察、研究、行動、提言、…)
- ・ 活動の頻度や内容は?(月1回活動の増減、午前と午後で活動を分ける、など)

○3月の活動発表会について

- ・ 市民(特に別府市)にどのように参加を呼びかけるか検討が必要
- ・ 発表内容について、事前にセントレジャーオペレーションズに説明しては?
- ・ 関係行政機関を多数呼びたい(市と県の土木・環境・農林担当、林野庁、環境省)
- ・ 司会と活動内容発表を、会員の誰がするか?

コドラートモニタリング結果を足立先生から発表してもらいたい、事前に資料をもらって内容を検討した方がよいのでは?

ご案内	2008年 1月27日
第28回 猪の瀬戸湿原再生プロジェクト	

活動発表会の準備と湿原内コドラート火入れの打ち合わせを行ないます。

場所：大分県庁 会議室(予定)

時間：13:00～16:00



(11月11日GPS班が調査したデータに基づいて作った植生地図です)

発行：猪の瀬戸湿原保全の会 事務局 (工藤)

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号 大分県企画振興部景観自然室内

電話：097-506-2122 FAX：097-506-1730

メール：al0550@pref.oita.lg.jp

